

専門科目	受 験 番 号	合 計 2 枚
問題用紙		
第一希望専門分野（該当を○で囲む）	氏 名	2025 年 10 月 11 日実施
1. スポーツ科学分野 2. 健康科学分野		

スポーツ科学分野、健康科学分野、いずれかの問題を選択肢して解答用紙に回答せよ。

【スポーツ科学分野】

設問 1

現在日本では、学校部活動の地域移行が推進されていますが、次の項目について論述しなさい。

- ① 地域移行の社会的背景
- ② そのメリット 3 点
- ③ そのデメリット 3 点
- ④ 具体策の事例
- ⑤ 今後の展望

設問 2

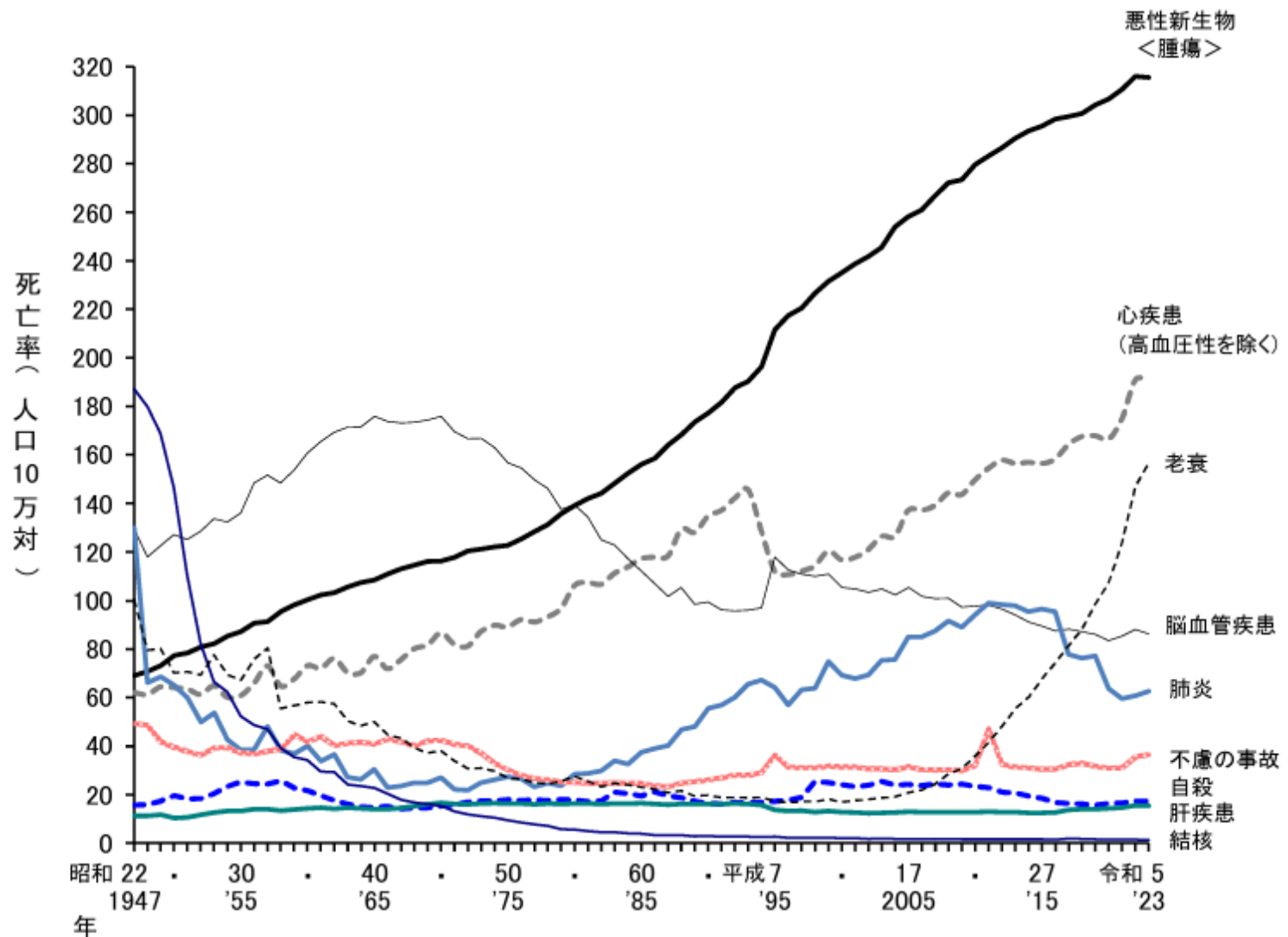
今年 6 月にスポーツ基本法が改正されたが、次の項目について論述しなさい。

- ① 改正の必要性
- ② 改正の主な内容
- ③ 改正のメリット
- ④ 改正のデメリット
- ⑤ 今後の展望

【健康科学分野】

下の図は、日本人における主要な死因別死亡率（人口 10 万人対）の年次推移を示しています。図には、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病に関連する死因が含まれています。この情報をもとに、近年の日本人の健康における生活習慣病の位置づけについて、以下の 1)～3) の要素を含めた小論文（700～900 字程度）を作成してください。

- 1) 小論文に適切なタイトルをつけること。
- 2) 代表的な 3 つの死因について、それぞれの特徴と関連する生活習慣に言及すること。
- 3) 死因の年次変化に影響すると考えられる社会的・医療的背景について考察すること。



- 注：1) 平成 6 年までの「心疾患（高血圧性を除く）」は、「心疾患」である。
- 2) 平成 6・7 年の「心疾患（高血圧性を除く）」の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成 7 年 1 月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
- 3) 平成 7 年の「脳血管疾患」の上昇の主な要因は、ICD-10（平成 7 年 1 月適用）による原死因選択ルールの特長によるものと考えられる。
- 4) 平成 29 年の「肺炎」の低下の主な要因は、ICD-10（2013 年版）（平成 29 年 1 月適用）による原死因選択ルールの特長によるものと考えられる。

出典）厚生労働省 令和 5 年（2023）人口動態統計月報年計（概数）の概況